

開催(案)

目的：「民都・大阪」フィランソロピー会議の設立など、民都・大阪における社会的課題解決に向けた新たな連携等の取組みを広く国内外に発信し、フィランソロピーの国際拠点都市の実現につなげる

時期：平成30年5月の平日昼間 プレイヤー（非営利セクター・社会的企業関係者）をメインターゲット

場所：検討中

主催：「民都・大阪」フィランソロピー会議（事務局：副首都推進局）

内容（案）

【第1部】【約105分】

メンバー紹介、挨拶（知事・市長等）【約15分】 知事・市長はビデオメッセージも検討

「民都・大阪」フィランソロピー会議の設立趣旨・概要について（事務局より説明）【約15分】

基調講演・パネルディスカッション等【約60分】

論点：基調講演やパネルディスカッションなどについて、
どのようなものが考えられるか（ゲスト・内容等）

フィランソロピー都市宣言の採択【約15分】

（第1部終了時点で中締め挨拶）

休憩【約15分】

【第2部】【約50分+】

大阪におけるフィランソロピー、非営利セクターの現状についての報告（事務局より説明）【約15分】

分科会における検討状況の報告【約10分×3】

参加型プログラム【分】

論点：参加型のプログラムについてどのようなものが考えられるか
（内容・所要時間等）

閉会挨拶【約5分】

時間配分は想定、トータル3時間前後の見込み

ターゲット・ねらい等

寄附者・投資家

(フィランソロピー都市宣言への賛同等、民間非営利活動に対する資金・経営面の支援拡充)

中間支援組織

(それぞれの分野へのフィードバック等により、法人格を超えた新たな連携・協働への支援等)

プレイヤー

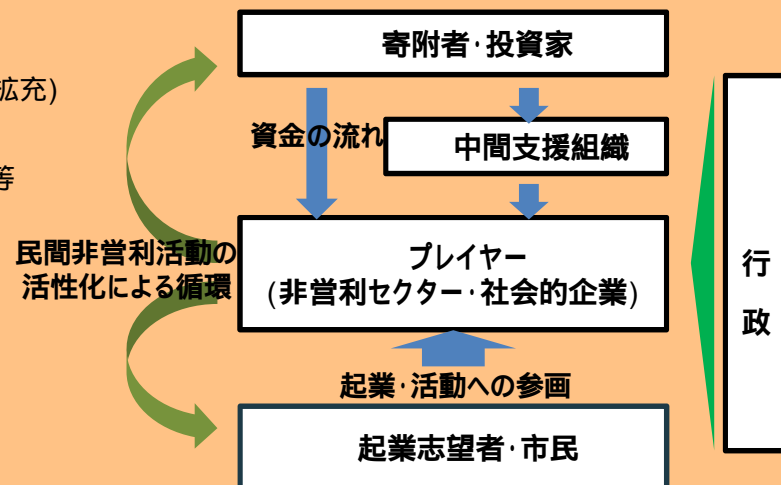
(新たな連携等によるソーシャルイノベーションの創出や活動・成果の見える化の促進等)

起業志望者・市民

(民間非営利分野での自己実現や、活動への参画促進等)

行政・関係機関

(必要な規制緩和や柔軟な制度運用など、行政における民間公益活動促進の取組み)



今後、整理が必要となる論点等

運営体制

- ・大会の大枠は第1回「民都・大阪」フィランソロピー会議で決定
- ・大会内容の詳細検討や大会運営の実務を担うために、分科会を設置するなど体制の検討が必要
- ・大阪NPOセンターや大阪ボランティア協会、大阪を変える100人会議等との連携協力についての検討が必要
- ・参加に関して事前の申し込み手続きをとるかなどの検討

大会の広報

- ・大阪NPOセンターや大阪ボランティア協会、大阪を変える100人会議などとの連携による幅広い広報活動の展開
- ・マスコミへのアピール（事務局（大阪府・市）からの報道提供に加え、会議メンバーの協力による発信・PRなど）
- ・広報チラシの作成要否や配布手法等についての検討が必要